創立５１周年を迎えて

盛岡中央高等学校
校長 富澤正一

本校の開校記念日は９月１７日で、今年創立５１年目となります。

本校は昭和３８年４月、初代校長龍澤福美先生が「独立進取」「研鑽努力」を建学の精神とし、盛岡市高松に龍澤高等学校として創立されました。翌３９年に現在地の観武ケ原に校舎を移し、以後幾多の苦難を乗り越えてこの度創立５１周年を迎えるに至りました。

その間、開校当初の普通科に加えて自動車科、情報処理科を設置。更には平成元年以来三度に亘る校舎の増改築により教育環境の一層の整備に努めるとともに、平成４年には一層の発展を求めて校名を盛岡中央高等学校と改めました。そして平成１６年４月には単位制（通信制課程）を設置するなど、現在は全・通併置の本県屈指の私学教育の総合高校として、地域はもとより本県教育の発展に大きく寄与しております。

特にも、２００３年５月全国高等学校初の品質管理の国際標準規格ＩＳＯ９００１の認証取得をはじめ、２００８年５月には県内高等学校初の国際標準規格環境ＩＳＯ１４００１を認証取得し、環境教育の推進・充実を図るとともに、グローバル化に対応した海外修学旅行や短期・長期の留学研修、１６回目となった「ＣＨＵＯ国際教育フォーラム」、海外１８ケ国・地域２１校との姉妹校交流やロシアとの柔道、サッカーそしてカナダとのバレーボールなどのスポーツ交流等の国際交流事業も展開されグローバル人材育成に大きな役割を果たしています。

また、２００８年９月には日本の高校では１１番目となるユネスコスクールにも加盟し世界各国の学校と連絡・交流を図り地球規模の諸問題に取り組んでおります。更にはＯＢも参加し１２年目となる「盛岡さんさ踊り」も年々盛んとなり、多彩な教育活動は、中央高校ならではの教育として県内外から注目を集め賞賛もいただいております。

加えて今春の進学においては、北大、東北大、筑波大、大阪大、早大、慶大、東京理科大、同志社大などの難関大学にも合格し、国公立大８２名、私立大１８９名、短大１２名、専門学校８３名と素晴らしい実績を残し、名実ともに私学の雄として県内進学校に位置づけられるものとなっています。

また、部活動においても、柔道部男女、陸上部、ゴルフ、スキー、アイスホッケー部の全国大会出場など、大いに成果を上げております。

本校の輝かしい業績は、何よりもまず、初代校長龍澤福美先生の高邁なる建学の精神を常に基本に据え、更には、草創期に生徒に述べられた「人は考え、それを実行に移し、そして省みること」と「素直な心になって物事を行うこと」の指針が、その後の本校の礎石になって発展したものだと思っております。

さらに、開校以来着々と他に誇り得る堅実な校風の下で育ち、視野広く豊かな教養を身につけた１０，５００名を超す卒業生が、県内外に於いて社会の有為な人材として活躍してもおります。

創立５１周年を迎えた本年、新たな歴史のスタートの年と位置づけ、更なる歴史の創造と発展を期して努力して行くことを決意し、この９月１７日の開校記念日を教職員並びに生徒諸君がその建学の意義を深くかみしめ、脈々と流れ続ける初代龍澤校長先生の精神に思いを致し、更に一層奮闘精進に励むことを共に誓い合う記念の日といたしたいと思います。

平成２６年９月１７日